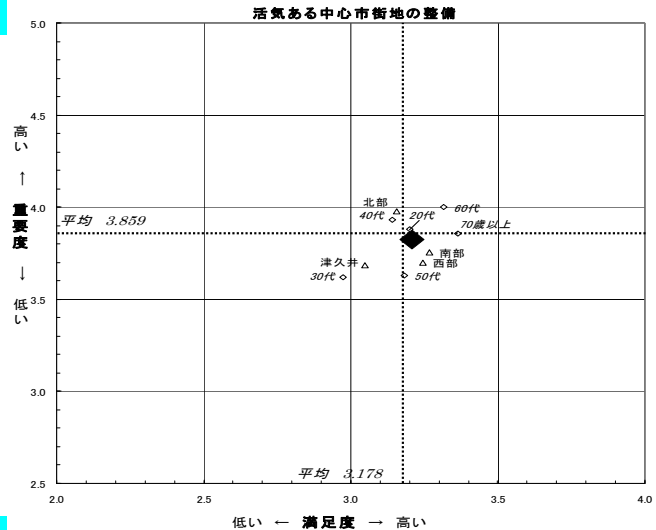


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.208で121施策の中で40番目。
 ○重要度は3.823で70番目である。
 ○改善要望度は-0.0468で70番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、30代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は南部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 (2) 1	
合計		4		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	事業の進捗度合いの全体にわたって、社会の経済状況が大きく係わっており、事業の進展・阻害の大きな要因となる。
解決策	まちに賑わいを生み出すとともに、都市の防災、コンパクトシティの推進、環境共生のまちづくり及び市の財政の観点からも有効な事業であり、事業の進展について行政が適切な支援を行う。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	------------------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

施策目的の成果が測定できる指標「定住人口増加率」や「商業施設売り上げ増加率」などの設定を行うこと。	3次評価 B
---	------------------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

